

バイオマスエネルギー事業性評価論の講義内容予定（9/12PM, 18PM）

コース名	バイオマス発電コース
講義内容の要約	<p>講義タイトル：バイオマスエネルギー事業性評価論 （再現事例を題材にした事業性評価の実修）</p> <p>出力 2000kW 未満の小規模木質系、メタン発酵系バイオマス発電システムはプロジェクト形成の手軽さもあって数多く登場しているが、事業性を確保できている例は非常に少ない。中には頓挫あるいは撤退した例も目立つ。</p> <p>本講座は、こうした現状がプロジェクトの立ち上げ時～途中段階における諸条件の調査確認の不備、換言すればエンジニアリングの不徹底にあることに着目し、過去に問題を抱えた木質系、メタン発酵系での再現事例を題材に、100項目の実践的なチェックリストにより問題点を探索しつつ、合理的な選択肢を求めて事業性の評価を実践する講座である。</p>
事業性評価論①のテーマ 9月12日14:40～16:10	<p>事業性評価の基本（プロローグ）</p> <p>再現事例①ステークホルダー、使命、組織の欠落、不備</p> <p>再現事例②投資の回収期間の計算不適、誤認、過信</p> <p>再現事例③内部収益率（IRR）の誤解、誤用</p> <p>再現事例④事業発注方法をめぐる不徹底、契約ミス</p>
事業性評価論②のテーマ 9月12日16:20～17:50	<p>再現事例⑤バイナリー発電の期待と厳しい効率問題</p> <p>再現事例⑥メタン発酵処理技術の多様性への対応が不備</p> <p>再現事例⑦メタン発酵逆有償処理システムの難題と不安</p> <p>再現事例⑧木質原料の性状に絡むプラント運転トラブル</p> <p>再現事例⑨排熱利用システム想定のとおり</p>
事業性評価論③のテーマ 9月18日14:40～16:10	<p>再現事例⑩炭化工程プロセス利用の誤算とリスク</p> <p>再現事例⑪木質原料の多角的利用への挑戦と不透明感</p> <p>再現事例⑫ガス化方式とタービン問題をめぐる選択肢</p> <p>再現事例⑬甘く見てしまった系統連系対応での苦戦</p> <p>再現事例⑭系統連系と発電機の選択にみえた盲点</p>
事業性評価論④のテーマ 9月18日16:20～17:50	<p>再現事例⑮ガスエンジンの選択問題で事業計画が頓挫</p> <p>再現事例⑯設備利用率が事業性良し悪しを左右、その根源</p> <p>再現事例⑰クリティカルパスに潜む事業性悪化のリスク</p> <p>再現事例⑱管理会計に財務会計が混在し経済性が混乱</p> <p>事業性評価のまとめ、On-Demand 対応のご紹介</p>